

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	奉仕係
■評価事業名称	読書推進事業		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	402100 - 101	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	幼児から一般まで市民の読書の習慣化を涵養する。おはなし会・展示事業・体験「1日図書館司書」・子ども映画会・読書のつどい・図書館ボランティア・図書館資料展と講演・読書ボランティアグループ発表交流会		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	おはなし会(中・江・和)	乳幼児年間開催回数	「おはなし会・おはなし会SP」 「工作教室(おはなし会と併せて開催)」 「赤ちゃん向けおはなし会」	「おはなし会・おはなし会SP」 24回開催 663人 「工作教室+おはなし会」 開催数4回 参加者数 163人 「赤ちゃん向け」12回開催274人
04	展示事業	幼児・児童・一般	「手づくり絵本展」 「県立巡回展」2つ 「高橋玲香マンガ・イラスト展」 「本の伝言板」 「みちの芸能まつりビデオ上映会」 「ミニテーマ展」	「高橋玲香イラスト展」544人 「手づくり絵本展」270人 「街道を歩く」120人 「岩手のミステリー作家たち」227人 「本の伝言板」58件 「本の伝言板ミニコーナー」1回
07	図書館収蔵資料展と講演会	成人	図書館収蔵地域資料展企画と展示	図書館収蔵資料展「きたかみの児童文学」 入場者数 293人 地区交流センターへの資料貸出 1回
08	読書通帳	幼児・児童・一般	「読書通帳」配布冊数	読書通帳配布冊数2000冊
09	体験1日図書館司書	小 高学年	夏休み・冬休み体験1日図書館司書 開催数 体験者数	開催2回 8月6人 1月5人
13	子ども映画会	小学校 低 幼児	「子ども映画会・子ども映画会SP・移動映画会」 開催数 入場者数	2

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

14	読書のつどい ほか	小学生 保護者	「読書のつどい」 参加者	12/2「読書のつどい」児童文学作家やえがしなおこ講演会37人 読書ボランティア活動パネル展示本の修理実演 雑誌スポンサー表彰10社
15	絵本ふれあい ボランティア・ 書架整理ボラ ンティア	幼児	「絵本ふれあいボランティア」 「書架整理ボランティア」 活動回数 延べ活動回数 利用者数	「絵本ふれあいボランティア」20回211人 「書架整理ボランティア」91回
20	読書ボラン ティア発表交 流会	読み聞かせボ ランティアグ ループ・学校図 書館ボランティ アグループ	「読書ボランティア発表交流会」 参加者数	47人
21	対面朗読	視覚障害者	「対面朗読」 開催回数 利用者数 音訳奉仕員数	0人
22	図書館クリ スマスディス プレー	中学生	「図書館クリスマスディスプレイ」 開催回数 参加者数	1回17人
23	貸出福袋	幼児・児童	「貸出☆本の福袋」 開催回数 利用者数	「貸出☆本の福袋」 開催回数1回 児童28人 一般10人
24	BOOK救命 隊	中学生	「BOOK救命隊」 開催回数 利用者数	北上北中 1回10人
25	大人名画座 ほか	一般	「大人名画座」 「図書館コンサート」 開催回数 入場者数	「大人名画座」6回275人 「ひとり語りの会」1回45人
26	健康劇で楽し く学ぶころ の健康ミニ講 話	一般	「こころの健康ミニ講話」 開催回数 参加者数	健康増進課と共同で開催することとしていたが増進課で開催しないこととなったため開催せず
27	郷土資料講 座	一般		岩手県立図書館共催 郷土資料講座「増補行程記に見る奥州街道」24名
28	百科事典の 引き方学習支 援			黒沢尻東小学校2回59名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	1,716	291	382	409	
人件費	15,675	9,532	10,251	13,812	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	17,391	9,823	10,633	14,221	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	開催数当たりコスト					
	事業の参加者数	3,622人	7,720人	6,601人	6,220人	各事業の参加者合計
	1事業あたりコスト					
	事業数	25事業(新5)	26事業(新1)	26事業	26事業	おはなし会、映画会等の事業数
	開催数	213回	207回	175回	203回	各事業の開催回数の合計

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

予定されていた事業は実施できている。

問題点・課題等

事業を知らない市民も多くおり、情報発信が不十分である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

普段図書館をしない人にも働きかけるため情報発信を強化する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了